

研修報告

2022 年度意思決定支援委員会企画研修会

委員長 大藏真弓

- ◆テーマ 「病院から在宅・地域へとつなぐ意思決定支援」
- ◇日時 2022 年 10 月 29 日（土） 13：00～16：30
- ◇方法 オンライン
- ◇参加者 33名
- ◇内容 講義 1・グループワーク1 意思決定支援の始め方～病院編～
野田 智子氏（江南厚生病院 医療ソーシャルワーカー）
講義 2・グループワーク2 意思決定支援の始め方～在宅編～
磯村 直美氏（小林記念病院 看護師・介護支援専門員）
講義 3・グループワーク3 意思決定支援の始め方～在宅チーム編～
野々垣 禅氏（海南病院老年内科 医師）

◆参加者アンケートのコメント（抜粋）

- ・本人の意向を確認できない方に意向を聞いても反映できないと誤解している自分に気づき、未熟さを感じた。私たちは代弁者でなければならず、その方が今までどうやって暮らしてきたかについて、もっと興味を持ち、今後も支援を行っていききたい。
- ・本人の思いをつなぐ方法を多職種がそれぞれの視点で考え、持ち寄り、話し合うことの大切さを改めて考えた。伝え方を工夫し、繰り返し本人の最善を考え続けていきたい。
- ・講義を踏まえた上で、グループワークでは MSW、CM 双方の意見を聞くことができ大変勉強になった。

◆研修会を終えて

在宅と病院で場所は異なりますが、当事者が自分のことを決めるための支援が様々な場面で行われています。今回の研修会は、愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会にご後援を受け、医療ソーシャルワーカーとケアマネジャー、地域包括支援センター職員が、それぞれの場所で行われている意思決定支援について学び合い、自身の支援に活かしていくこと、多職種チームで当事者の意向を尊重していくこと、そして在宅から病院、介護施設等へと療養の場所が変わったとしても、想いを引き継いでいくことの重要性を相互に学ぶことを目的として企画しました。3名の講師から意思決定支援について大切にしたい要点や事例をご紹介いただき、グループワークで意見交換を行って理解を深めていきました。3時間30分という長丁場でしたが、「楽しかった」「時間が短く感じられた」というご感想もいただきました。多職種の方々と一緒に学ぶことができ嬉しく思っています。

意思決定支援は、ケアマネジャーをはじめ医療・ケアに関わる多職種の方にとって関心の高いテーマであり、今後も研修企画の参考にしていきたいと思えます。

本研修会を実施するにあたり、副会長と、研修部長、担当理事には企画段階から研修終了まで手厚くご支援をいただきました。また、総務部には後援名義申請をはじめ細やかなサポートをいただきました。また、委員以外の会員の方々にファシリテーターのご協力をいただき、充実した研修会を開催することができました。ご協力に心よりお礼申し上げます。